

交通エコロジー・モビリティ財団

認証事業所が7千件に

運輸業者の支持拡大

環境負荷低減に取り組み運輸事業者を認定する「グリーン経営認証」の累計認定事業所数が3月中にも7千件を突破する。2月末時点の実績は6976件。中小事業者が容易に取り組める制度の特長に加え、環境ニーズが高まる中、法律による優遇措置や各自治体・団体の助成金制度、金融機関の低金利融資などの普及促進策も広がり、順調に件数が伸びている。この1年間の伸び率は月平均40〜50件程度にのぼる。

グリーン経営
認証を示す
ロゴマーク



グリーン経営認証は、交通エコロジー・モビリティ財団（東京都千代田区）が03年10月に開始。環境保全の活動項目を具体的に示したグリーン経営推進マニュアルに基づき、一定レベル以上に達している事業者を審査・認証する。

全認定事業所数のうち、トラックは553は、バスは319、タクシーは453で、業界全体に占める車両保有台数の割合はそれぞれ11・9%、15・5%、14・3%。

09年度の集計データによると、認証取得2年後の平均燃費はトラックの重量8t以上で4・9%、8t未満で

4・7%、バスで3・2%、タクシーで3・0%改善した。トラック認証事業者の平均燃費は業界全体に比べ、27・9%も高かった。

同認証は、国のグリーン購入法の輸配送や貸切バス・タクシーの調達基準に適合。また、改正省エネルギー法では荷主に環境に配慮した運輸事業者の選定を求めている。

さらに龜山市や、愛知・岐阜・三重・静岡の各トラック協会は認証取得費用に対する助成制度も展開。認証事業者への融資金利を

優遇する金融機関も増えている。

認証取得による交通事故や車両故障の減少、従業員の意識向上、顧客評価の上昇などの効果も大きく、自社の

経営力強化につながっている。